

平成26年3月31日

## もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	人事課	氏名	原 健雄
派遣先 団体名	久多美コミュニティセンター		
<b>1 研修日時及び活動</b> 6月20日(木) 竹取り参加→流しそうめんの樋、箸、器の作成用 6月28日(金) 流しそうめんイベント準備(会場設営等) 6月29日(土) 流しそうめんイベント参加(そうめん流し、竹の器づくり等) 8月10日(土) はやさめ久多美夏まつりへスタッフとして参加			
<b>2 研修内容</b> <b>(1)流しそうめんイベント</b> 久多美コミュニティセンター(以下「コミセン」という。)における、地域住民との交流を図るイベントのひとつ。  ① 山へ入っての竹の切り出し 地元の方々と近くの山に入って、流しそうめんに必要な樋、箸、器に使用する竹の切り出しに行った。 当日はあいにくの雨で作業はかなり難航した。 実際、このような作業はしたことがなく、全く役に立たなかったが、降りしきる雨の中黙々と作業をされる地元の方々には恐れ入った。 ② 箸、器の作成など事前準備 流しそうめん用の箸、器の作成を行った。 小刀で竹に手を入れるなど全くの初体験であり、これまた難航を極めた。 徐々に慣れてはきたが、周りの方々との出来映えは一目瞭然であった。 ③ 事前準備(樋の作成、設営等) 樋の作成も行った。 「流しそうめん」なので、竹で作った樋をうまくそうめんが流れないと話にならない。 ここでも、地元の方の経験とノウハウが大活躍。 相変わらず役に立たず、地元の方々の言われることを何とかこなすにとどまったが、非常に良い経験をさせてもらった。 ④ 流しそうめんイベント参加 いよいよ、流しそうめんの当日。 子どもたちを中心に予想以上の人が集まってきて、改めて地元に着した取組であると実感した。 そうめんを流す大役に挑戦させてもらった。流すタイミングや量を自分なりに調整して流してみた。特に苦情もなかったので一安心。この研修で初めて自分なりに満足した瞬間だったかもしれない。(やや、大げさだが……) そうめんがなくなったか、参加した皆さんが満腹になったのかはよく分からないが、			

滞りなく終了となった。

最後に地元のケーブルテレビにスタッフ全員が出演（記念撮影的？）して終了となった。あの映像は放送されたのだろうか・・・。

## (2) はやさめ久多美夏まつりスタッフ参加

久多美コミセンの夏の一大イベント。地元住民が一堂に会し交流を深めるイベントだと思う。

### ① 会場準備

地元の方々、消防団の方々と一緒に、舞台設営やテント張りなどの手伝いをした。

力仕事には若干自信があったが、日頃鍛えておられる消防の方にはかなうわけがなく、ここでもあまり役に立てない。いないよりましな程度だったかもしれないが、何とかこなせたかなと思う。

### ② まつり参加

まつりが開始し、様々な催しが実施された。

最中は、ジュース売りのブースを手伝わせてもらった。見知らぬ顔なので、どのように対応すればよいか最初は戸惑ったが、それを逆手にとって、結構楽しく作業をすることができた。

日頃、なかなか出来る体験ではないので、非常に良い経験をさせてもらったと感じた。

## 3 感想

- ・私の地元にもコミュニティセンターはあるが、実際何をされているのか分からない部分が多かった。（興味を持たない自分に多分に問題はあるのだが・・・。）
- ・今回の研修を通じ、コミセンの活動などはもとろん、コミセンが地域において担う立ち位置みたいなものが少しは理解できたかなと思っている。
- ・また、久多美コミセンは、地域住民の方が非常に協力的であり、地域全体で物事を考える風土、意識を非常に強く感じた。
- ・このような意識は、一朝一夕で培われるものではなく、永年のコミセンの取組がなせる技だと思う。日頃からコミセンの皆さんが裏方として努力された賜物であり、頭が下がる思いである。
- ・個人的には、研修を通じて役に立てたことは少なく、また、日程の都合でキャンセルした行事もあり残念であったが、先述したとおり、「コミセンの存在意義」みたいなものを少しは理解できた貴重な体験であったと思っている。
- ・最後に、烏田センター長をはじめとしたスタッフの皆さんには非常に親切にいただき、滞りなく研修を終えることができたことに感謝申し上げたい。
- ・今後も、久多美コミセンが地域住民の方々と一緒に活動拠点であることを願っている。

## (3) その他特記事項